

12月のあいさつ

みなさん、明日から冬休みです。学校には、春、夏、冬と休みがあるのですが、この冬休みは短いのですが、私は一番好きです。それは、クリスマスがあったりお正月があったりで、何か楽しめるからです。

この冬休みには、お正月があります。大晦日があって、次の日が1月1日。言葉の響きなどもあるのですが、何かのスタートという気持ちにさせてくれます。「一年の計は元旦にあり。」という言葉聞いたことが、皆さんはあると思います。新しい年が始まるということで、何か頑張ろうという意欲とかも生まれてきます。皆さんも、今度のお正月を迎えるにあたって、新たなチャレンジとそのための準備をしてくれたらと校長先生は思っています。

そこで今日、お話するのは、このマークです。見たことがありますか。

このお茶のマークは、伊右衛門です。パイプをくわえた男の人のマークは、コーヒーのボスですね。

きっと、皆さんも知っていたでしょうし、飲んだことがあるでしょう。この製品を作っている会社はサントリーという世界的に有名なウイスキーなどをつくる会社なのです。そして、大阪発祥の会社であり、梅田の近くに本社があるのですよ。

明治時代にお酒、ウイスキーを作っていた小さな商店がこの会社のスタートだったのです。それが、だんだんと大きくなり、日本だけでなく、世界を代表する大阪発祥の会社になったのです。

いまではこの会社は、今ではウイスキーだけでなく、ビール、そしてこのジュースやお茶、コーヒー、薬などを作っているのですね。私たちの住んでいる大阪の商店からスタートして、こんなに大きくなったのです。

そこで、この会社の社長さんの言った言葉が、この会社の企業理念になっていて、なかなかいいと思ったので、皆さんに紹介して、覚えて欲しいと思います。

それが、この「やってみなはれ」です。

これは大阪の方言ですね。なんだか、ほっとするような言葉の響きですね。会社をつくった社長さんが、若い社員の発案に対して発言した言葉が、会社の理念、大切にしていることになっているのです。何事にも、チャレンジするということですね。取り組みとか、チャレンジせよ、とか言うより、なんだか私たちにはフィットしませんか。校長先生は、このサントリーの社長さんのこの言葉を知ったときに、なんていい言葉なんだろうかと思ったので皆さんに紹介した次第です。

冬休みを迎える皆さんに、伝えます。

「やってみなはれ」

法律違反、人に迷惑をかけること、不幸になることでなければいい。何か、自分を成長させるために、この冬休み、お正月からスタートしてください。

では、また1月に皆さんに会えることを楽しみにしています。